

相模総合補給廠への第38防空砲兵旅団司令部の駐留に関する要請

平成30年9月28日、南関東防衛局から、米陸軍第38防空砲兵旅団司令部が相模総合補給廠に今年16日から駐留を開始するとの情報を受けました。

長年にわたり基地の整理・縮小・早期返還を求めてきた本市としては、かねてより基地の運用等に変更のある際は、あらかじめ地元へ情報提供し、協議を行うよう求めてきたところですが、本件について、何の事前相談もなく、決定事項として突然に知ることとなったことは、甚だ遺憾なことです。

そもそも米陸軍の兵站を担うとされる補給廠に、このような司令部が駐留することに違和感と疑問が拭えません。特に、本件によって、補給廠の機能が強化されることがあってはならないと考えております。

また、近年、補給廠周辺地域は、米空軍ヘリコプターによる深刻な騒音被害に悩まされています。これ以上の新たな負担を受けることはできません。

こうしたことから、貴職におかれましては、責任を持って、次のことに取り組むよう強く要請します。

- 1 司令部の任務や運用など、詳細を明らかにすること。
- 2 司令部駐留が相模総合補給廠の機能強化・恒久化につながるものがないこと。
- 3 相模総合補給廠周辺に騒音などの影響を及ぼすものがないこと。

平成30年10月4日

防衛大臣 岩屋 毅 殿

外務大臣 河野 太郎 殿

相模原市長 加山 俊夫